

JIS

発泡プラスチック —ポリエチレン—試験方法

JIS K 6767 : 1999

(2006 確認)

平成 11 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準化調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって日本工業規格JIS K 6767 : 1995は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、国際規格に一致した日本工業規格の作成、及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 7214 : 1998, Cellular plastics—Polyethylene—Methods of test (発泡プラスチック—ポリエチレン—試験方法)を基礎として用いた。

JIS K 6767には、次に示す附属書がある。

附属書A(規定) セルの計数手順

附属書1(規定) ポリエチレンフォーム試験方法

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 45. 4. 1 改正：平成 11. 10. 20

官報公示：平成 11. 10. 20

原案作成協力者：日本プラスチック工業連盟

審議部会：日本工業標準調査会 化学部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

発泡プラスチック
—ポリエチレン—試験方法

K 6767 : 1999

Cellular plastics—Polyethylene—Methods of test

序文 この規格は、1998年に発行されたISO 7214, Cellular plastics—Polyethylene—Methods of testを基に作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定内容を日本工業規格として追加している。

附属書1には、従来、日本工業規格(JIS K 6767 : 1995 ポリエチレンフォーム試験方法)で規定していた試験方法の一部について規定した。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲

1.1 この規格は、ポリエチレンを原料とする軟質及び半硬質発泡プラスチックの試験方法について規定する。ISO 1872-1に規定のポリエチレンに関する諸特性又はISO 4613-1に規定のエチレン共重合体に類似の性質をもつ、エチレン共重合体若しくはポリエチレンとの重合体混合物を含む発泡体についても、この規格の手順を適用することができる。

1.2 発泡ポリエチレンの最終使用形態に関係のない特性の基本試験を7.に示し、特定の用途に関連する特性を測定するための補足試験を8.に示す。

1.2.1 基本試験

	箇条番号
見掛け密度	7.1又は附属書1の1
圧縮応力—ひずみ	7.2
圧縮永久ひずみ	7.3又は附属書1の4
引張強さ及び伸び	7.4又は附属書1の2
熱的安定性	7.5
吸水率	7.6
燃焼性	7.7
圧縮硬さ	附属書1の3

1.2.2 補足試験

	箇条番号
動的緩衝性能	8.1
圧縮クリープ	8.2又は附属書1の5
熱伝導率	8.3
透湿度	8.4
動的こわさ	8.5
セル数	8.6
引裂強さ	8.7
繰返し圧縮永久ひずみ	8.8